

4-3 フライバシー権と、関連の問題 <標準編>

平穏な生活 の混乱

プライバシーが侵害されると、私たちの心は乱され、
平穏な生活に波風が立つ。また現実被害を受けるこ
ともある。

例えばコンピュータ・ウイルスに感染した電子メールを送りつけられて、
うっかり開封してしまったために保存していた大切な情報が失われる事
件が挙げられる。このようなメールや手紙が届くのは、メールアドレスや
住所・氏名（場合によると性別や年齢まで）などの個人情報が誰かによっ
て不正に入手されているからである。また、本人が離婚した事実を隠した
いと思っていたのに、勤務先の会社が不用意に姓名が変わったことをもら
してしまったため、離婚した事実が明らかになってしまった、ということ
もある。クレジットカードの番号や銀行口座の暗証番号などが故意または
過失によってインターネット上に流出したりすると、財産を侵害される危
険も発生する。

犯罪報道の 問題点

日本では、犯罪事件が発生したり、その事件の容疑
者が逮捕されたりすると、少年事件を除いて、被害者
や容疑者の実名や経歴などが詳しく報道される。しか
し、そのような「**実名報道**がプライバシー侵害である」という強い主張が
ある。他の先進国では、原則として実名報道はせず、事件が起きた場所や
犯罪の方法などについても詳しく報道しない傾向にある（ただし公務員が
職務上の権限を悪用した場合などは実名報道となる）。

「犯罪の容疑者である」というだけの理由では、その人が犯人であると
決まったわけではない。**推定無罪の原則**に照らしても、実名報道は抑制し
ていく必要がある。

犯罪歴の公 開

間違いなく罪を犯した経歴のある者について、その
犯罪歴を公開することは、犯罪歴のある者のプライバ
シーを侵害することになるのだろうか。「性犯罪や幼児
を対象とした犯罪の経歴がある者は、刑期が終わり刑務所を出所したのち
に再び同様の事件を起こす確率が高いので、このような犯罪歴をもつ者につ
いては、誰がどこに居住しているかを情報公開すべきではないか」との
議論がある一方で、プライバシー侵害の危険から反対する意見もある。

差別の助長

技術の進歩によって、現在では微量の血液や皮膚細胞から遺伝子情報を読み取り、どのような病因をもっているか調べることができるようになっている。このようなことが行き過ぎるとプライバシーの侵害につながる恐れがある。例えば従来なら外見では判断できなかった難病の遺伝子をもっている人が明らかになり、そのデータが蓄積されていくことが可能になると、そのような難病の遺伝子をもっている人々に対する有形無形の**差別的取扱**が発生する危険がある。

自由の侵害

例えば「図書館でどのような本を借りて読んでいるか」という情報は個人情報だが、そのような個人情報がコンピューターに集積されれば、例えばあるテーマに関する書物を読んでいる人間を瞬時に検索することが可能になる。すると例えば「情報公開」など政府にとって都合の悪い情報に接している市民を探し出しリストアップして、日常的にその市民を監視したり、同様の情報に接することができないように操作する、といったことが起こりかねない。これでは市民生活に権力者が介入して、市民生活の**自由を侵害**することになる。

実際に戦前このようなことが起きた事実を反省し、「市民のプライバシーを扱っている」という自覚に基づいて、日本図書館協会は「**図書館の自由に関する宣言**」を制定し、1979年に内容をさらに充実させている。

名誉毀損の罪

プライバシー権に関連して、**名誉毀損**にも注意する必要がある。これは、公然と事実（多くの場合プライバシーにかかわる内容）を指摘して他人の社会的名誉を傷つける行為【①】をいい、被害者が告発することによって犯罪に問われるものである（刑法 230 条）。指摘された「事実」が真実でない場合はもちろん問題だが、仮に真実であったとしても名誉毀損罪は成立するので、他人のプライバシーに関わる事柄をみだりに明らかにする行為は慎むべきである。

但し、例えばマスメディアが公務員の不正行為を正すために取材・報道した場合のように、指摘された事実が公共の利害に関する内容で、もっぱら公共の利益を図る目的でなされた場合には、指摘された事実が真実であったときに限り、犯罪にはならない（刑法 230 条の 2）。なぜなら、仮に汚職事件などが起きたときに、マスメディアが名誉毀損罪に問われることを恐れて不正行為を報道しないようになってしまえば、民主政治の健全性を保つことができなくなるからである。

①インターネット上のブログなどに誹謗中傷の書き込みをする行為も名誉毀損に該当する場合がある。（例：2009 年 2 月お笑い芸人スマイリーキクチのブログに書き込みをした 19 名の検挙）